

伊賀市議会 だより

2012. 2. 1
No.28



島ヶ原温泉で初舞
伝統文化を引き継ぐ子どもたち
(島ヶ原獅子神楽保存会)



主な掲載内容

| | |
|----------------|-------|
| 本会議審議結果 | 2～3 |
| 委員会審査、請願・意見書審査 | 4～6 |
| 16 議員が一般質問 | 8～13 |
| 議会の活動報告、議会のしくみ | 14～15 |
| 議会報告会・次回の議会日程 | 16 |

12月定例会 12月1日~21日開催 で決まった主な内容

平成23年第7回定例会では、予算・条例議案など45議案と議員提出の意見書など3件が提案され、全議案を可決・同意しました。

補正予算

今回の補正は、各会計を通じて、年度内の職員異動、退職予定者に係る人件費のほか、国・県の補助や、ハイトピア伊賀に係る管理経費、株式会社上野産業会館への出資及び災害復旧事業などに必要な額を補正するものです。

全員賛成で可決

一般会計 主な使いみち

| | | | |
|------------------------|----------|-----------------|----------|
| ○人件費(職員異動及び退職予定者の増加など) | 1億8310万円 | ○後期高齢者医療広域連合負担金 | 1億円 |
| ○ゆめが丘摺見線道路新設事業 | 8800万円 | ○防災対策経費 | 1720万円 |
| ○しらさぎ運動公園整備事業 | 1380万円 | ○ごみ燃料化施設燃料費 | 3550万円 |
| ○上野南中学校建設工事費 | 1870万円 | ○株式会社上野産業会館出資金 | 1億8970万円 |
| ○災害復旧費(台風12号及び15号) | 4億3460万円 | | など |

主な歳出の財源

| | | | |
|---------|----------|-----|----------|
| ○国・県支出金 | 3億3100万円 | ○市債 | 4億4100万円 |
| ○市税 | 5億1710万円 | | など |

各会計別 補正予算集計表

(単位：千円)

| 会計名 | | 補正額 | 補正後の額 |
|------|----------|-----------|------------|
| 一般会計 | | 1,505,797 | 47,020,505 |
| 特別会計 | 国民健康保険事業 | 513,619 | 10,133,308 |
| | 駐車場事業 | 0 | 52,215 |
| | 介護保険事業 | 111,403 | 8,402,722 |
| | 農業集落排水事業 | 63,314 | 2,417,907 |
| | 公共下水道事業 | 0 | 990,963 |
| | 浄化槽事業 | 0 | 45,330 |
| | 後期高齢者医療 | △2,630 | 913,896 |
| 企業会計 | 病院事業会計 | △85,774 | 4,680,220 |
| | 水道事業会計 | 293,355 | 5,127,668 |

補正額0になっているのは、債務負担行為(※1)を設定のため

条例の制定・改正等

▼ハイトピア伊賀公共
公益施設の設置及び
管理に関する条例の
制定

「ハイトピア伊賀」は、

中心市街地活性化基本計画の核となる、上野市駅前再開発事業の建物で公共公益施設として、地下1階に駐車場、地上4階に子育て包括支援センター、保健センター、男女共同参画センター、5階に生涯学習センターを

整備し、適正な管理を行うための条例を制定するものです。設置、名称及び位置、利用の許可、使用料等について規定しています。

全員賛成で可決



▼伊賀市市税条例の一部改正

国の地方税法の一部改正に伴い、市税条例に関連する部分について一部改正を行います。

全員賛成で可決

内容は、個人住民税の寄附金税額控除の適用下限額を引き下げ、控除対象に認定NPO法人以外のNPO法人を新たに規定するほか、市税に係る必要な申告をしなかった場合の過料を改正します。

※債務負担行為(さいむびたんこうい) 将来にわたる支払義務に対応するため、あらかじめ後年度の債務を約束すること

▼島ヶ原会館条例の一部改正

各地区公民館の使用料の見直しに伴い、島ヶ原会館の利用料金も統一基準により改正します。

全員賛成で可決

▼伊賀市公民館条例の一部改正

中央公民館（上野公民館）がハイトピア伊賀の5階に移転することに伴い、所在地番を変更するほか、生涯学習センターの使用料を今回新たに設定することと合わせ、各地区公民館の使用料を改定します。

全員賛成で可決

▼大山田教育センター設置および管理に関する条例の廃止

大山田教育センターは、社会教育、人権教育など一体的に推進するために整備された施設ですが、現在は公民館活動の拠点として利用することが多く、市内各地区公民館の使用料見直しに伴い、来年度から公民館施設として位置付けるため、条例を廃止します。

討論 反対

賛成多数で可決

公務員給与の引き下げが、民間賃金の引き

育など一体的に推進するために整備された施設ですが、現在は公民館活動の拠点として利用することが多く、市内各地区公民館の使用料見直しに伴い、来年度から公民館施設として位置付けるため、条例を廃止します。

全員賛成で可決

▼伊賀市職員の給与に関する条例等の一部改正

人事院勧告の内容に準じることとしながらも、当市の実情を踏まえ、職員の給与を改定します。

行政職給料表及び教育職給料表の一部を平均0.23%引き下げ

る改正で1月1日から施行。

討論 反対

賛成多数で可決

公務員給与の引き下げが、民間賃金の引き

下げを招き、悪循環が繰り返される。また、度重なる賃下げは自治体職員としての誇りと働く意欲を失わせてしまふことになるため反対。

（百上）

人事案件

▼公平委員会委員の選任

委員の任期満了に伴う後任委員の選任で、現委員を引き続き選任。

・西 忠弘 氏

全員賛成で同意

▼人権擁護委員候補者の推薦（2名）

委員の任期満了に伴う後任候補者の推薦で、現委員を引き続き推薦。

・森川 孝子 氏

・西森 平之 氏

全員賛成で同意

▼教育委員会委員の任命

委員の任期満了に伴

う後任委員の任命。

・山元 紳行 氏

全員賛成で同意

その他議案

▼指定管理者（※2）の指定

今回新たに指定管理を行う施設が3施設と期間満了のため指定を行う35施設の指定管理者について指定を行います。

全員賛成で可決

▼土地の取得

（詳細は5ページをご覧ください。）

賛成多数で可決

討論 反対

原野・山林である土地の価格としては高すぎると思うが、土地価格について議論がされていないことが問題。

（森永）

しらすぎ運動公園整備事業は市民的な議論や合意がないまま進め

が不透明。隣接する民間企業への情報提供がなされていない。

（前田）

指定管理者が指定された施設

| 施設名称 | 指定管理者 | 指定期間 |
|-------------------------|-------------------------------|--------------------------|
| 上野ふれあいプラザ及び上野ふれあいプラザ駐車場 | イオンディライト株式会社 | H24.4.1 ～ H27.3.31 |
| 市営柘植駅駐車場 | 日本鉄道OB会柘植支部 | |
| 市営新堂駅駐車場 | 有限会社新堂駅管理商会 | |
| 市営島ヶ原駐車場 | 島ヶ原勤労者協議会 | |
| 島ヶ原ふれあいの里 | しまがはら郷づくり公社 | |
| 伊賀の国大山田温泉ふれあいプラザさるびの | 大山田温泉福祉公社 社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会 | |
| 上野運動公園野球場ほか18施設 | 財団法人 | |
| 岩倉峡公園キャンプ場 | 伊賀市文化都市協会 | |
| いがまちスポーツセンター | 阿波地域住民自治協議会 | |
| 大山田東グラウンド及び大山田東体育館 | ウイツツ青山学園高等学校 | |
| 青山上津グラウンド及び青山上津体育館 | 上友田区 | H24.4.1～ H26.3.31 |
| 鞆田地区介護予防拠点施設 いきいきセンター | 社会福祉法人伊賀市社会事業協会 | H24.4.1～ H29.3.31 |
| 放課後児童クラブふたば | 社団法人 | |
| 菜の舎及びバイオ燃料センター | 大山田農林業公社 | |
| 阿山交流促進施設 | 阿山物産振興協同組合 | |

※指定管理者制度（していかりんしゃせいで） 民間事業者も含む「法人その他の団体」に公の施設の管理業務を代行していただく制度で、民間参入を推進しその知識や技術を活用することで、サービスの向上や管理経費の削減等を目的としています。

常任委員会

各常任委員会では、第7回定例会で付託された議案について審査を行いました。主なものは、次のとおりです。

総務

議案12件

財産の無償譲渡

旧しろはと幼稚園園舎を白鳳幼稚園に

旧しろはと幼稚園園舎は、平成22年3月に市営幼稚園2園の統合により用途を廃止した後、平成22年度にみどり保育園の改修に伴って、白鳳幼稚園に建物等を譲渡します。

なお、用地については適正な価格で売却します。

成23年度から学校法人白鳳幼稚園に園舎として貸付をしております。

今後、市の園舎として使用する見込みがなく、また建物は現状では園舎以外の用途に使用することが難しいことから、幼稚園事業の



Q この建物の不動産登記はしていないとのことだが、所有権の移転登記はしなくていいのか。

A 表示登記をするのであれば、市として協力する。

A 表示登記から行う必要があるれば、学校法人で行ってもらおう予定である。

討論において、土地売却は、早い時期に交渉に入っていたいただきたいとの意見がありました。

Q 建物については、旧上野市が所有者であったため、まずは伊賀市で表示登記をして、その後、贈与による所有権移転とす

決まりました。

教育民生

議案13件

指定管理者の指定

放課後児童クラブクラブふたばを社会事業協会に

指定管理者候補者の選定については、原則、公募によることとしていますが、施設の設定目的を効果的かつ効率的に達成するため、地域等の活力を活用し

た管理を行うことにより事業効果が明確に期待できるものと認められるときは、公募を行わずに特定の団体等を選定できることとしていきます。

なお、その選定過程や手続の透明性・公平性を高めていくため、外部の有識者を含めた選定委員会を設置し、審査しています。

「放課後児童クラブふたば」は、「社会福祉法人伊賀市社会事業協会」に指定管理者の指定を行うものです。

なお、指定期間は、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間です。

Q 9月議会において放課後児童クラブふたばの設置についての審議時に、当局から「子どもたちの環境に配慮しなければならぬことから、現在の指導員を継続していただきたい」ということを両法人に要求し、両法人ともできるだけ

配慮するとの回答を得ている」との答弁があったが、現在の状況はどうなっているのか。

A 前回の答弁のとおり了解を得ているので、本議案が議決されれば調整をする。

Q 指定管理者の選定は公募により3団体が応募されているが、指定管理料は各団体の積算により提出されているのか。

A 各施設とも、各団体が事業計画書を作成し、併せてその収支計画書が提出されている。

全員賛成で可決すべきものと決まりました。



建設中の「放課後児童クラブふたば」

産業建設

議案6件

土地の取得

しらすぎ運動公園施設用地の取得

都市公園事業用地として取得しようとする土地は、伊賀市下友生字池ノ谷3017番1ほか6筆、合計3万7338㎡で、取得金額は2億7585万9400円で、土地所有者の伊賀市土地開発公社ほか7名から取得するものです。

いのか。

A 地役権設定の土地の占める割合は敷地全体の2%程度であるので、価格への減額等の影響はない。植栽制限は、高く成長する竹木が対象で、芝生は可能と考える。

全員賛成で可決すべきものと決まりました。

A 高圧線の地役権が設定されており、建造物の築造、工作物の設置、竹木の植栽等の制限がある。

Q 単価は1㎡当たり9500円と、ほかの土地の約3倍の設定がされているが、公園として利用する土地に植栽ができないという制限は、土地の鑑定評価に影響しな



※地役権（ちえきけん） 自分の土地にとって都合がいいように他人の土地を利用することができる権利のことで、他人の土地を通行したり、他人の土地に高い建物を建てさせないようにするなど、さまざまな目的で設定することができます。

請願

●教育民生常任委員会で審査し、本会議で採択となりました。

採択

移送サービス事業の早急な改善を求めることについて

◎請願者

伊賀市障害者福祉連盟
会長 坂本 元之

◎紹介議員

中谷一彦 中盛 汀
西澤民郎 本城善昭
中本徳子

◎趣旨

平成23年4月1日より、移送サービス料金が改定され、2km以下400円、1km増すごとに100円を加算される現行料金は、週3回人工透析が必要な患者にとって、自己負担増になっていることを考慮いただきたい。
移送サービスの費用の一部を自家輸送の補助に充てる、また現在の公共交通を小回りのきく方法に切り替えるなどの工夫で、効率的な送迎も可能と考える。以上の事情により、市に対し移送サービスへの早急な助成の拡大を求める。

◎採択に 全員賛成

採択

精神障がい1級の入院と2級・3級への医療費助成を求めることについて

◎請願者

伊賀市障害者福祉連盟
会長 坂本 元之

◎紹介議員

中谷一彦 中盛 汀
西澤民郎 本城善昭
中本徳子

◎趣旨

現在、精神障がい者は、1級の通院助成のみの医療費助成にとどまっている。精神疾患は、定期的な通院と服薬は欠かせない上、精神科以外にも通院せざる得ない場合が多い。また精神障がい者に対する根強い偏見のため、就職も困難で、経済的にも非常に厳しい状況におかれている。この実情に鑑み、身体・知的障がい者と同じ医療費助成を市に対し求める。

◎採択に 全員賛成



意見書

議員提出

災害に強い日本の構築に向けた社会資本整備を求める意見書

◎趣旨

東日本大震災の被災地の復旧・復興と併せ、災害に強い日本の構築に向けて、地震や台風などの災害から国民の安全・安心を守るために必要な社会資本の整備を推進するよう強く求める。

◎採決

賛成24人
反対2人

討論 反対

・学校施設の避難所機能向上のための環境整備や宅地被害対策の強化を図ることは納得するが、大変な財源が必要になる高速道路を優先的に整備推進することが含まれているため反対する。
(森永)

◎提出先

内閣総理大臣
国土交通大臣
文部科学大臣



国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書

◎趣旨

安心社会を構築するため、医療や介護の充実、子育て支援の強化などに対する各種基金制度が設けられ、地方自治体における迅速かつ柔軟な取り組みに対して支援が行われてきたが、多くが今年度限りで終了する。国民生活の安心と向上を図る上からも、基金及び基金事業を継続するよう強く求める。

◎採決

全員賛成

◎提出先

内閣総理大臣 文部科学大臣
厚生労働大臣 財務大臣
経済産業大臣
内閣府特命担当大臣（行政刷新）

ここが聞きたい

市政を問う

一般質問

12月7日から12日まで、16人の議員が市の諸問題について質問しました。

一般質問

前田 孝也 議員

質問項目

- 1 ハイトピア伊賀建設工事
- 2 校区再編計画

問

地質調査の成果を問う



平成18年5月に3箇所
のボーリング（地質調査）を
実施していますが、調査深度を
尋ねます。

また、産業廃棄物混じり土
の発現に係る処分の経過報告書によると、『平
成23年3月3日、若干の産業廃棄物が確認され
た』と記載されていますが、平成18年5月にお
けるボーリング、試掘調査によつてすでに地下
に異物が確認できたとされており、報告書とか
み合いません。整合性について回答ください。

答

埋設物の予測はできなかつた

掘削深度は敷地の北西部15m37、中央付近12
m30、南東部13m40の3箇所による調査を66mm
の口径でボーリングを行いました。

柱状図により南東部において木片等が確認さ
れていますが、今回のように、これだけの産業
廃棄物が埋設しているとは、到底予測できませ
んでした。

一般質問

稲森 稔尚 議員

質問項目

- 1 子ども・子育て環境の充実について
- 2 住民自治活動への支援について
- 3 上野市駅前再開発ビルの廃棄物処理に
ついて

問

西柘植小学校校区にも 「放課後子ども教室」の開設を！



伊賀市の「放課後の子ども
の居場所づくり」は大変遅れ
ており、さらなる充実で子ど
も・子育て世代を応援してい
くことが必要です。そのひと

つが旧伊賀町の西柘植地区ですが、子育て世代の
強い要望があり、地域住民からも「放課後子ども
教室」を実施したいという声があがっています。

しかし、西柘植小学校の教室を活用するため
の調整がつかないなどの理由で、開設が見送ら
れていました。その後、教育委員会は開設に向
けどのような努力をされてきましたか？

答

当初の予定で進めています

地域からの強い要望を受け止め、平成24年度
から西柘植小学校を活用し、「放課後子ども教
室」を開設できる方向で最終調整をしています。

今後は地域住民の皆さんの協力・参画を得な
がら、多くの子どもたちに安心して利用してい
ただける環境づくりを進めていきます。

市政を問う

一般質問
今井 由輝 議員

質問項目

- 1 決裁権について
- 2 東日本大震災にかかるがれき処理について
- 3 ため池の安全チェックは給食の安全性は
- 4 県道甲南阿山伊賀線について
- 5

問
東日本大震災のがれきの受け入れは



3月11日の東日本大震災の発生から、はや9ヶ月が過ぎようとしています。未だにがれきの処分先が決まらず、環境省では県に協力を求めてきており、県は必要性を感じていても処理施設がないため、権限を有する各市町の判断に委ねるよう書かれております。市や民間で受け入れるとなれば、放射能チェックや処理はどのように書かれております。市や民間で受け入れるとなれば、放射能チェックや処理はどのようにされるのか伺います。

答
安全性が確認できるまで受け入れません

震災直後の調査では、伊賀南部環境衛生組合は日量5トンの受け入れ可能と報告しています。その後、放射能問題が生じ、現在では未だ放射能の受け入れ基準が決まっています。また民間で処理する場合は事前協議が必要で、受け入れに関する審査会で可否を審査いただきますが、市としては、安全性が確認できるまで受け入れはしません。

一般質問
桃井 隆子 議員

質問項目

- 1 伊賀盆地に於ける過去の液状化と危機管理
- 2 現庁舎地下に残存している埋蔵物の扱い方

問
地震時、新庁舎は災害本部として機能できますか



伊賀市上野丸之内地区では、過去2回（1819年、1854年）地震による液状化が発生しました。過去2回以上地震による液状化が発生した地域は、全国で150件しかないと文献には載っています。平成16年度の上野市史には、『丸之内地域で過去2回液状化が発生した。』と史実を載せています。しかし、庁舎建設検討委員会には液状化発生の事実は告知されておりませんでした。市庁舎は耐震構造等で壊れることはないと思いますが、ライフライン（水道・電気・交通等）は破壊されてしまいます。3・11東日本大震災で、千葉県浦安市の道路状況がテレビ報道されましたが、伊賀市でも同様の状態が想定されます。災害本部として不適合と思われる丸之内に市庁舎を建設されるメリットを伺います。

答
庁舎建設の位置は変更しません

液状化問題がありますが、3年前・4年前に戻って議論する気持ちは当局としては持っていません。

一般質問
百上 真奈 議員

質問項目

- 1 障がいのある人が住み慣れたまちでいつまでも暮らせる施策を
- 2 太陽光発電システム設置補助で自然エネルギーの利用促進を

問
障がいのある人への相談・就労・生活支援にもっと予算措置を



わずか4人で障がいの程度区分認定やサービス調整など1万件近い相談を受ける市直営の障がい者相談支援センターの機能強化、県の事業である就労・生活支援事業継続への対応、知的・精神障がい者の就労経験を積む場づくり、65歳以上の高齢障がい者のサービスのあり方等々、様々な問題について予算措置も含めた市の対応を求めます。

答
限られた予算の中で、優先順位を決め早急に必要ことから進めます

相談支援センターは専門的知識を持つ人を長期間職員として配置できるよう、あり方を検討します。就労・生活支援事業は、継続した就労支援を今後も受けられるよう県と調整するとともに、ジョブサポーターの人材確保・養成に取り組みます。また、市役所での職場実習事業については、グループでできる仕事も考えていきます。さらに、高齢になっても、障がい・介護サービスの域にとらわれず、その人に合ったサービスを提供できるよう支援します。

市政を問う

一般質問

森岡 昭二議員

質問項目

- 1 行財政改革について
- 2 地域医療について
- 3 住民自治協議会のあり方について
- 4 上野市駅前地区市街地再開発事業について

問

病院の再生にむけた取り組みは



上野総合市民病院の医師確保の取り組みと現状について伺います。

答

医師確保にむけ全力であたる

現在、常勤医師が13名、非常勤医師で救急応援が11名、外来、手術、検診の応援医師が31名の合計55名の医師で診療にあたっています。

看護師については、常勤が88名、臨時非常勤が18名の106名で診療にあたっている現状です。

医師確保にむけては、滋賀医科大学や名古屋大学の医局を中心に支援をお願いしているところです。さらに医療専門職の紹介業者に依頼している他、伊賀にゆかりのある医師に個別に要請をかけたり、非常勤の医師に働きかけをしたりと等、常勤医を確保できるように引き続き要請していきたいと考えています。

一般質問

森永 勝二議員

質問項目

- 1 税と社会保障の一体改革について
- 2 図書館の充実について
- 3 乳幼児医療費の助成制度について
- 4 上野丸之内中心部の液状化問題について

問

子ども医療費の助成の拡大は



鈴木三重県知事が来年9月から子ども医療費を現在の小学校就学前から小学校卒業まで助成すると表明しました。松阪市は、この機会に中学校卒業まで実施するといわれていますが、伊賀市はどうしますか。

答

小学校卒業まで助成する

県の制度に準じて平成24年9月から小学校卒業まで対象を拡大したいと考えています。対象者は4600名で1億円と試算しています。県が2分の1、市が2分の1です。

問

窓口無料化は

窓口で無料化できませんか。

答

県の検討委員会で検討中

無料化については、県の福祉医療費制度改革検討委員会が設置され検討中です。メリットは利便性が高まり事務手続きが簡素化されます。デメリットは、窓口負担がなくなると必要以上に受診者が増え医療費が増えるといわれています。

一般質問

上田 宗久議員

質問項目

- 1 産業振興について
- 2 生活・環境について
- 3 新学習指導要領と生きる力について
- 4 スポーツ振興と都市間交流について

問

交通事故多発地点解消に万全の対策を



昨年の県内の交通事故による死亡者数は135人に上っています。伊賀市管内でも今年になってすでに8名の尊い命が失われました。中でも今年3月末に供用開始された摺見下川原線の伊賀広域道路の交差点では7件の重大な交通事故が立て続けに発生しています。

今後の地域間交流や都市と農村の交流に大きな役割を果たすと期待されている道路ですが、一方では市道との交差やアップダウンが多く、スピードが出やすい危険な箇所が多くあります。来春に供用開始の場所も含めて万全の交通安全対策が必要です。考えを伺います。

答

再発防止のための対策を最大限講じます

市からは地域事情など警察署に説明し、伊賀農林商工環境事務所とも協議の上、減速標示、交差点内を赤色に塗装するなどの交通安全策を講じることとしています。併せて交通安全教室の開催などを通じてマナーアップ向上に努めます。

市政を問う

一般質問

奥 邦雄 議員

質問項目

- 1 農林業政策について
- 2 小学校区再編計画について
- 3 地域医療について
- 4 県道上友田円徳院線について

問

TPP不平等条約と懸念されているが

総理の環太平洋経済連携協定（TPP）への交渉参加表明をめぐり、農協・生協・消費者団体の1167万人が反対、衆参の国会議員の半数以上、地方議会の道府県の44・市町村の1425議会で反対・慎重の意見書が採択され、農業、医療、食の安全が大打撃を受けるといわれています。



伊賀市は農産物を含め中山間等効率の悪い地域であり、今後市長はどう対応していきますか。

答

一定の国民合意がない現在 反対の立場を表明している

TPPに対し、国のほうでは賛成、反対の色々な議論がされていますが、私たち地方自治体として農畜産物に直接影響があるわけであり、農業者にとっての位置付けで安心した政策があれば別として、一定の国民的合意がない現在では、市としては反対の立場を表明しています。

一般質問

中谷 一彦 議員

質問項目

- 1 人口減少と地域の持続可能性

問

地域主権戦略大綱第1次一括法の公布を受けて伊賀市の対応は



第1次一括法は、地方自治体の自主性を強化し、自由度の拡大を図るため、義務付け・枠付けを見直し、公営住宅の整備及び収入基準の条例委任や高齢者等居住安定化推進事業について、伊賀市の方向性を示してください。

答

ニーズ調査も行います

この法律は平成24年4月1日施行ではありませんが、1年の猶予規定があります。民間独自の申請もできることから、内容と補助率等の制度を周知し、ニーズ調査も行い、平成25年4月1日の条例施行を実施したいと思います。



一般質問

馬場 登代光 議員

質問項目

- 1 JR関西線に忍者列車を走らせませんか

問

JR関西線に忍者列車を走らせませんか

JR関西本線亀山―加茂間の電化に向けて前市長時代からいろいろな協議会が設置されて運動が進められてきました。今年も乗客を増やすとの考えだと思えますが、子どもたちの団体乗車についての助成やウォーキングの実施をしていますが、その効果はどうですか。



私は、昨年富山県氷見市へ行き、JR氷見線の忍者ハットリ君の列車を見てきました。JRでもこんなことができます。20年近く、ウォーキング等々、乗客を増やすために続けてきた取り組みの効果上がりませんが、氷見市のような目に見えた取り組みを考えたことがあります。

答

鉄道会社に提案したい

電化については三重県知事に取り組んでいたと思います。忍列車については鉄道会社に提案したいと思っています。

市政を問う

一般質問

田山 宏弥 議員

質問項目

- 1 伊賀市における活性化の取り組みについて
- 2 行政機構のあり方と定員適正化計画について

問

庁舎の位置は

市庁舎は単に市の業務を行うための建物ということではなく、市としてのシンボルであり、その位置がまちの機能や形態をつくっていくための基となるべきと考えます。



伊賀市の将来を考える時、何を軸とすべきなのか、旧市町村がどういう役割を担うべきなのか市長の考えを伺います。

答

庁舎はまちの中心に定めるべき

庁舎のある場所は、伊賀市の中心地であるとして、これまでも説明してきました。行政の中核機能であり、防災面での役割を果たす庁舎であるべきと考えています。併せてこれからの伊賀市にふさわしい中心市街地をつくっていきます。

一般質問

中本 徳子 議員

質問項目

- 1 庁舎建設問題について
- 2 地区市民センター整備について
- 3 交通計画について

問

交通計画の取り組みはどのように進んでいるのか

合併して早7カ年が過ぎました。現状からは見えてきませんが、鉄道もあれば、行政バス、廃止代替バスもあり、交通施策はどのように進めていますか。



高齢化社会が進む中で高齢者が便利に活用できるデマンド交通が望まれています。現在、阿山支所管内をモデル地区として取り組まれているデマンド交通の進捗状況と今後の交通計画について伺います。

答

デマンド交通等の計画によりスピード感をもって進めます

デマンド運行等の検討は4月に策定した伊賀市交通計画に沿って行っています。現在、阿山地区交通運行協議会においてアンケート調査に取り組んでおり、3月中には結果をまとめる方向で進んでいます。交通の果たす役割は大切な整備で、デマンド運行等の実施に向けスピード感を持って進めていきます。

一般質問

岩田 佐俊 議員

質問項目

- 1 危機管理に関して
- 2 消防行政に関して
- 3 空き家管理対策に関して

問

地すべり監視装置の電話応答システムの管理は

9月21日の台風15号で、地すべり監視装置の誤作動により2週間前の雨量が流されました。地すべり地域にお住まいの方々の人命にかかわることでもあります。データの管理はどのようにされていますか。



またケーブルテレビで雨量データを24時間テロップ放送していただけますか。

答

保守業者の点検と担当課で定期的なチェックに努める

電話応答システムの音声ガイダンスが機械の故障により2週間も更新されなかった件は、関係者の皆様に大変ご迷惑をおかけいたしました。故障の原因は、サーバー内のハードディスクの破損でした。現在、保守業者による年1回の点検を行っていますが、今後は担当課においても定期的に確認を行い、今後こうしたことがないよう厳しくチェックに努めます。またケーブルテレビでのテロップ放送は、技術的には可能とのことですが、今後検討させていただきます。

一般質問

中井 洸一 議員

質問項目

- 1 伊賀市の教育行政について
- 2 上野総合市民病院の現状について

問

広く市民に開かれた教育委員会に



教育委員の選任方法は、広く適材を求めたり住民の意向を反映するなどの工夫が必要ではないですか。
また毎定例委員会は公開が義務づけられています。前の会議日程が周知されていないこともあります。日程の早めの周知と、会議録の迅速な公開が大切だと考えますがいかがですか。

答

情報の提供や公開はより迅速に努めます

教育委員の選任方法は現在のままで良いと考えていますが、承認する議会側も責任を持って審査にあたってほしいと思います。
定例委員会の開催日程は事前にホームページで周知し、夜間開催なども必要に応じて検討します。会議録は委員会終了後可能な限り迅速に公開するよう努めます。

一般質問

近森 正利 議員

質問項目

- 1 災害対策について
- 2 障がい者の就労支援について
- 3 高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成について

問

高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成を

肺炎球菌が原因で起こる肺炎などの感染症を予防する高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種に関し、接種することによって、肺炎による入院、死亡を減らすことが期待できます。



厚生労働省予防接種部会ワクチン評価に関する委員会の報告書によりますと、医療経済効果の高さと安全性の点から、高齢者への接種を促進すべきワクチンと報告されており、公費助成の実施をすべきではありませんか。

答

ワクチン接種の実施に向けて検討します

肺炎球菌は、高齢者の肺炎の中で一番多い病原菌で約50%を占め、肺炎による死亡者の約90%は高齢者であります。
現在、法定外の予防接種ワクチンですが、これまでの事例から必要性が大きいため、24年度からの実施に向け検討します。

第6回マニフェスト大賞

審査委員会特別賞受賞

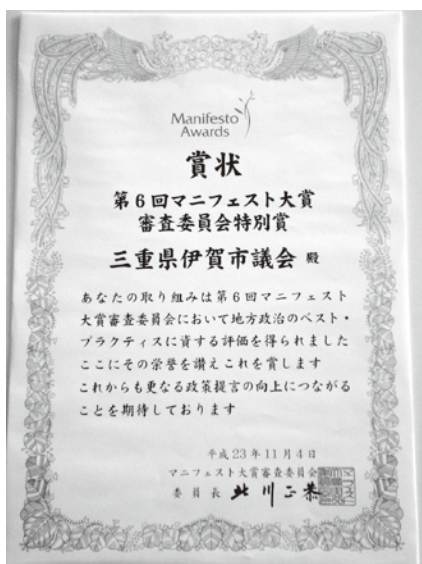
11月4日、地方自治体の首長や議員、地域主権を支える市民の活動実績を募集して表彰する「第6回マニフェスト大賞」で、伊賀市議会が優秀コミュニケーション賞の「審査委員会特別賞」を受賞しました。

毎定例会終了後に、議員と市民が地区単位で自由に意見や情報を交換する「議会報告会」を導入、定着させていることが評価されました。

受賞を励みとして、議会報告会での議論を政策立案に向けて、更なる議会改革をめざします。

※マニフェスト大賞は、「ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟」などで構成する実行委員会が2006年に創設。

今回は過去最多の1670件の応募がありました。



議会の活動

委員会の視察報告

○総務常任委員会

10月31日～11月2日

【視察先】
 ▼福岡県大野城市
 ▼福岡県直方市
 ▼大分県中津市



大野城市では、これまで来庁者がいくつもの窓口を移動していた手続きを可能な限り「一つの窓口」で終わらせるために、総合窓口「まどかフロア」で対応し、電話での問い合わせにはコールセンターを、平日に市役所へ来られない人のためには週末窓口サービスを開設して、お客様の視点に立った窓口改善に取り組んでいます。

中津市は、地方から大都市圏への人口流出を抑制するため、総務省の推進する施策の「定住自立圏構想」に取り組んでいます。隣接する3市2町と協定を締結、圏域の将来像や協定に基づき、地域医療等、共生ビジョンを策定しています。

直方市は、「行政改革実施計画」の推進項目として事務事業を総点検し、160事業について仕分けを行っています。評価として、事業の必要性を考えるきっかけになり、職員の意識改革の面で効果があったようです。

各市の先進事例は伊賀市にとっても課題とするもので、大いに参考になりました。

○教育民生常任委員会

11月14日～16日

【視察先】
 ▼秋田県秋田市
 ▼秋田県北秋田市



秋田県の自殺率は12年連続自殺率全国ワーストであったこともあり、秋田市では平成22年に「秋田市自殺予防総合対策」を策定し、自殺率減少に向けて様々な事業を行っています。

また、秋田駅前の複合施設に設置する「子ども未来センター」では、児童及び家庭の総合相談・女性相談、地域の子育て支援等やファミリーサポートセンターなど様々な子育て支援に対する事業を行っています。

北秋田市では、一部教科担任制とチームティーチング指導を主とした学習指導の充実と児童の学力向上に取り組む「市立鷹巣西小学校」と、心の問題に悩む小中学生を対象に、さまざまな体験を通して、心と体の充電を図る機会を提供している「あきたリフレッシュ学園」を視察しました。

それぞれの先進事例を学びましたが、特に、伊賀市も人口10万人当たりの自殺率は、この5年間で県平均より高い状況にあり、秋田市の自殺予防対策への様々な取り組みは参考になりました。

○産業建設常任委員会

11月8日～10日

【視察先】
 ▼長崎県長崎市
 ▼熊本県熊本市



長崎市では、「ながさき暮らし」を推進すべく、第2の故郷探しやUターンによる移住者の受け入れ体制を整備し、交流促進・定住誘導を進め、活力ある地域づくりを図っています。

また、平地が少なく急勾配な地形の長崎市は、「斜面地のまちづくり事業」として、斜面市街地再生事業や斜面移送システム等の取り組みを通して災害に強いまちづくりを推進しています。

「長崎さぐる」事業は、「まち歩きのみち・長崎」の定着を図るため、ガイドを育成し既存の観光施設、イベントにもまち歩きをからめて展開し、観光客のリピーター化を進めています。

熊本市では、熊本市中心市街地活性化基本計画により、中心市街地のにぎわいづくりのための事業が展開されています。

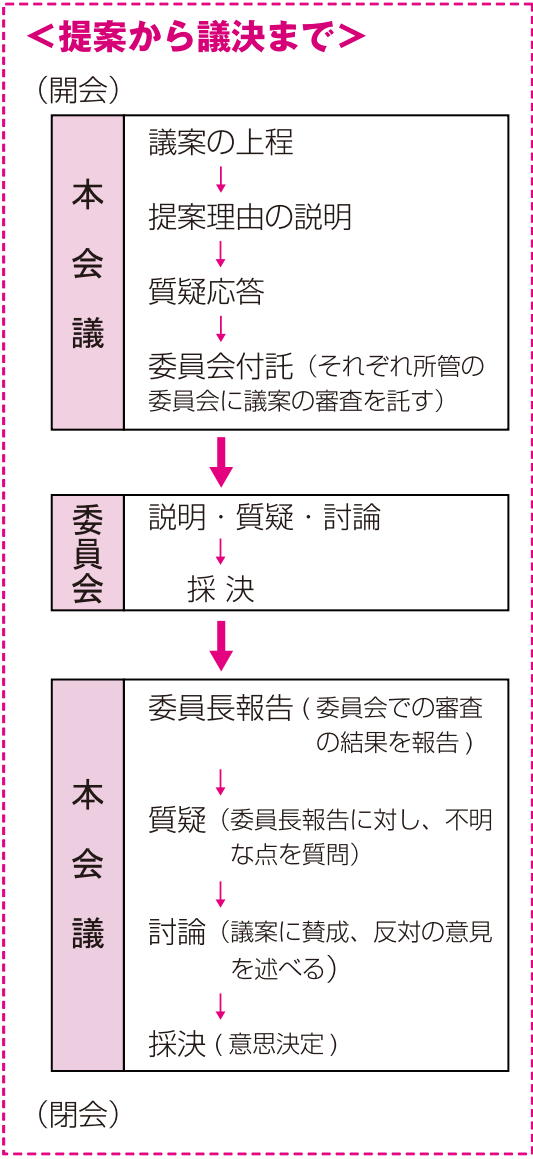
また城下町としての魅力を高め、来訪者のまちなか回遊を活性化させるため、商店街や商工会議所、市が一体となってさまざまな活動に取り組んでいます。

伊賀市として中心市街地の活性化とともにいかにしてまちなかに人を呼び込むか学びました。

議会のしくみ

皆さんに伊賀市議会への理解と関心を深めていただくために、市議会のしくみを紹介します。

- ◆ **定例会**
定例会は、年4回（通常3月、6月、9月、12月）に開かれます。会期はそれぞれ、およそ20日間です。
- ◆ **臨時会**
臨時会は、必要なときに開かれます。
- ◆ **議会運営委員会**
議会が円滑に運営できるよう、会議の進め方や、議長の諮問などを協議するため、必要に応じて開かれます。
- ◆ **常任委員会**
本会議に提出された議案や請願を詳しく専門的に審査するため、常設されています。
 - 総務常任委員会
 - 教育民生常任委員会
 - 産業建設常任委員会
 - 予算常任委員会
 - 決算常任委員会
- ◆ **特別委員会**
必要に応じて、特定の事項を調査または審査するために設置されます。
- ◆ **閉会中の活動**
議会の閉会中も委員会を開いて審査をするほか、県内外への調査や各種行事に参加して、皆さんの要望を市政に反映させるための活動をしています。



● 請願書、陳情書の提出方法

市民の皆さんのご意見やご要望を行政に反映させるひとつの方法として、請願書、陳情書を議会に提出することができます。

請願書

請願書には、請願の件名、趣旨、提出日及び請願者の住所、氏名を記載の上、押印し、1名以上の紹介議員の署名または記名押印を受けて、議会事務局に提出してください。請願書は、提出された後、その趣旨を委員会や本会議で審議し、採択、不採択を決めます。そして採択された請願は関係行政庁などに送付し請願の趣旨の実現を要請します。

陳情書

陳情書は、原則として本会議での議題にはせず、写しを全議員に配布し、その趣旨が伝えられます。陳情書の場合は紹介議員の署名は必要ありません。

請願書、陳情書は市の休日（土、日、祝祭日）を除いて、午前8時30分から午後5時15分までの事務取扱時間中、いつでも受付いたします。

議会報告会

平成23年度34か所で開催



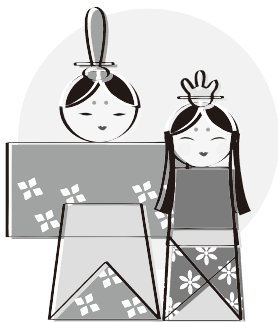
議会報告会は、住民自治協議会単位（設立されていない地区は自治会単位）で、希望により4月、7月、10月、1月に分けて開催しています。

内容は、2時間の報告会のうち、半時間程度で、議会の活動状況や本会議で行われた予算等の審議状況、その他重要と思われる事項を報告し、残りの1時間半で市民の皆様との意見交換をしています。

23年度は34か所、延べ36回開催し、市民の皆様から市政に対して、また地域の現状などさまざまな声を聞かせていただきましたが、特に、庁舎建設問題、医療問題、市駅前再開発ビル工事の問題など活発なご意見、ご質問をいただきました。

今後も更なる充実に向けて、議員全員で取り組みますので、市民の皆様には、高校生など若い世代も含めた幅広い年齢層の方々のご参加をお願いいたします。

3月



平成24年3月定例会日程(予定)

- 2月28日(火) 本会議(開会、上程、付託)
- 3月 5日(月) 本会議(代表質問)
- 6日(火) 本会議(一般質問)
- 7日(水) 本会議(一般質問)
- 8日(木) 本会議(一般質問)
- 12日(月) 予算常任委員会
- 13日(火) 予算常任委員会
- 14日(水) 予算常任委員会
- 15日(木) 常任委員会
- 16日(金) 常任委員会
- 19日(月) 常任委員会
- 23日(金) 本会議(委員長報告、採決、閉会)

※上記日程は、変更になる場合もあります。

議会の傍聴してみませんか!!

議会の会議は、どなたでも傍聴することができます。

市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ、傍聴にお越しください。

本会議等の模様は、午前10時からケーブルテレビでも生中継しています。(再放送は午後7時から)

- 聴覚に障がいのある方で、手話通訳による傍聴を希望される方は、一般質問初日の3日前までに市議会事務局に申し出てください。(対象となる会議……一般質問)
- 議場傍聴席に「磁気誘導ループ」装置も設置しております。

議会だよりに関するご意見をお寄せください。

発行：伊賀市議会
編集：伊賀市議会広報委員会

TEL 0595-22-9687

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

FAX 0595-24-7901

ホームページ http://www.city.iga.lg.jp